

みちのく環境だより

環境省東北地方環境事務所 <http://tohoku.env.go.jp>

東北地域における環境問題の取組と東北地方環境事務所の活動内容を紹介しています。

地域の取組紹介

～東北地域のまほろば事業 地産地消と交流を基本にした、 環境にやさしい自立のまちを目指して（山形県飯豊町地域）

山形県飯豊町の概要と取組

山形県飯豊町は、美しい田園散居集落の景観を有する自然豊かな農山村地域で、米や花卉産業などの農業や林業が町の産業の一角を支えています。

こうした地域の特色を背景として、同町では、平成 16 年から 3 年間、住民・事業者・行政等が連携して「環境と経済の好循環のまちモデル事業」に取り組みました。

事業の取り組みに当たり、森林資源等を活用した地域循環型の暮らしづくりの啓発や自然エネルギー設備等を導入することで、住民への環境と共生したライフスタイルの意識醸成を図りながら、さらに、生活と仕事が結びついた産業興しへと発展するよう努めました。

取組事例の紹介

自然エネルギー設備の導入では、町内の小学校に太陽光発電設備等を設置して環境教育に活用するエコスクール事業や花卉農業用ハウスと宿泊施設に木質ペレットボイラーを導入する事業、また、一般家庭や公共施設への木質ペレットストーブの導入、雪室の建

設等が行われ、平成 20 年度にはこれらの設備の導入で CO2 が約 79 トン削減されたと試算されています。

また、地元の木材を使い、最先端の省エネ遮断熱工法を採用した「いいで型環境共生モデル住宅」を建設し、その設備には、太陽光発電、ペレットボイラー、ペレットストーブ、地下水や雪室等の自然エネルギーを利用した総合的な暖冷房システムが導入されており、多くの見学者及び宿泊等利用者の関心を集めています。

事業の拡がり、木質バイオマス製造施設整備へ

本事業は平成 18 年度に終了しましたが、同町の取り組みはバイオマスタウン構想の策定（H19 年度）有機肥料センターの堆肥舎増築（H21 年度）へと拡がり、本年 11 月には木質バイオマス製造施設を公設民営方式で整備しました。

従来、木質ペレットボイラー等の燃料は町外のものを使用せざるを得ませんでした。これにより町内で容易に確保することができるようになりました。



いいで型環境共生モデル住宅

また、製造施設などには東京から帰ってきた若者が数名働いており、若者への雇用機会の創出にもつながっています。

同町の取り組みは、町内に新たな産業と雇用を創出し、地域資源とエネルギーの地産地消を進め、地域の経済循環の再構築へと広がっています。

同町では、町の将来像「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」の実現に向けて、引き続き、地球環境保全と経済活動がともに進展できるよう、これらの取り組みの推進に努めていきたいとしています。



木質バイオマス製造施設と
飯豊町後藤総合政策室長

環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町 3-2-23
仙台合同庁舎

電話:022 (722) 2870 (代表)

FAX:022 (722) 2872

電子メール: REO-TOHOKU@env.go.jp

(リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること)

電子メール: TOHOKU@env.go.jp

(国立公園、エコツーリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること)

～八郎湖の再生に向けた取組

八郎湖流域の自然再生活動を行っている住民団体等23団体と東北地方環境事務所との共催により、11月23日、秋田県八郎潟町において、「第3回八郎湖の再生を考える集い」を開催し、約230名の住民の方々に参加していただきました。

本集いは一昨年から住民団体の方々が自ら企画し、東北地方環境事務所の事業として毎年行ってきたものですが、住民団体の方々の意見要望の取りまとめや集いの運営等については秋田県秋田地域振興局などの支援をいただいております。

昭和32年に始まった八郎潟干拓事業による残存湖である八郎湖は、平成19年に湖沼水質保全特別措置法（湖沼法）の指定湖沼となりましたが、秋田県では以前からその再生に向けて、昭和56年に流域市町村と八郎湖水質対策連絡協議会の設置、平成18年には八郎湖環境対策室の設置等各種取組を進めております。

また、秋田地域振興局においても、平成15年から「環八郎湖・流域の未来プロジェクト」、18年からは「環八郎湖・水の郷創出プロジェクト」として「自然再生活動の促進」、「環境教育による未来の人・地域づくり」、「多様な主体との協働のネットワーク化」に取り組んでおります。

具体的には湖岸再生事業への助成事業による自然再生活動の支援、子どもたちを対象とした環境教育の実施、自然再生活動やフォーラムなどの情報配信、本集いにおける住民団体の協働とネットワーク化の支援等です。

「私たちに今、何ができるのか？」という問いかけで始まった集いですが、2年間の活動の中で、住民の方々の活動が活発になってきたとともに、住民団体間のネットワーク化も進んできました。

秋田地域振興局では、今後も八郎湖の再生に向けて、このようなイベント等を通じながら、地域住民や各住民団体及び各関係機関と連携を更に強化し、協働しながら自然再生活動を盛り上げていきたいとしています。



八郎湖の再生を考える集い会場



集いの体験コースにおける地引き網の成果、かへの観察

事業紹介

～白神山地エコツーリズム実践講座開催

白神山地でのエコツーリズムは、地域資源の適切な保全と利用を図ることを目指し、平成16年度から3年間に藤里町及び西目屋村をモデル地区として、エコツーリズムモデル事業に取り組んできました。

さらには、エコツーリズム推進基本計画に沿ったエコツーリズム推進の基盤を確立するために、平成19年度以降、藤里町を中心とした地域を対象に、支援事業を環境省が行ってきており、今年度が最終年にあたります。

今年度は、実践講座を実施しており、11月6日・7日に藤里町ツーリズム協議会との共催で、地域主体でモデルエコツアー体験の

企画・実施等を行い、仙台の旅行会社等の12名を招き、白神山地の説明やトレッキングの他、地元の旬の味・温泉浴を提供すると共に郷土芸能を披露しました。

ツアー終了後には、意見交換会を開催し、旅行業者側からツアーに対する感想をいただき、白神山地など紹介した地元の素材は高い評価を得ました。

参加者からは、商品化に向けて「テーマの明確化」、「地域の情報窓口を一元化しての、旅行会社に向けたPR」、「ホームページは見やすいように工夫する」等の助言をいただき、今後は、地域がまとまって企画提案を行っていく重要性を再認識してモデルツアーを終えました。



活動紹介

～西目屋小学校 出前授業

白神山地には人の手がほとんど入っていない豊かな自然環境が広がっています。

しかし、西目屋村の子どもでさえも白神山地にほとんど入ったことがありません。

「これは何とかしなくては」と思い、西目屋小学校の総合学習の時間にアクティブレジャーが出前授業を行い4年生を対象に白神山地について勉強しています。

今回は実際に白神山地に分け入ります。

今回は実際に白神山地に分け入ります。

目的はカツラの巨木です。道は

獣道でうっかりすると道から外れます。

それでも、子どもたちを先頭に地図とコンパスを片手に目的地を目指しました。

途中、子どもたちは、キノコ、シャクトリムシ、くさい匂いのする木(クサギ)などをたくさん発見し、興味津々でルーペをのぞきこんだり、触ったり、図鑑で調べたりしました。

そして、目的のカツラの木に到着するとその大きさにびっくりしていました。

お昼ご飯を沢で食べて午後は生き物調査をしました。

最初は、うまく捕まえられなかったのですが、捕まえ方を教えてあげるとサンショウウオ、ヘビトンボ、カジカ、最後にはイワナまで捕ってしまいました。白神山地にはさまざまな生き物が溢れています。

この出前授業で子どもたちはそれらを見つけ、いきいきと私たちに教えてくれました。

出前授業を通して白神山地を誇りに思う子どもたちが増えてくれることを願います。

西目屋自然保護官事務所
(アクティブレジャー
石橋史朗)



職 場 紹 介

～盛岡自然保護官事務所

盛岡自然保護官事務所では、十和田八幡平国立公園八幡平地域のうち岩手県に係る区域、和賀岳自然環境保全地域及び早池峰自然環境保全地域の管理を1名の自然保護官で行っています。

当該国立公園の特徴は、八幡平山頂周辺の高層湿原、八幡平、岩手山及び秋田駒ヶ岳等多数の火山群からなる多種多様な火山性の地形や噴気、噴湯の火山現象の火山景観、ブナなどの原生林地帯、アオモリトドマツなどの亜高山性針葉樹林、さらに山稜部にはハイマツ林など原始性の高い森林等手つ

かずの原生林が広がっていることです。

このような優れた自然景観の維持・保全を図るため、各種法令に基づく行為の指導・審査、高山植物の盗採対策、荒廃した湿原の復元対策、外来植物の駆除等様々な業務を行っています。

一方、網張ビジターセンターにおいては、岩手山の火山地形、高山植物、多様な生きものなどの豊かな自然や歴史についての情報提供を行うとともに、自然とのふれあいを通じて自然や環境保全への理解を深め、国立公園にふさわしい利用を促進し、環境保全への行動に結びつくことを目指し、自然観察会や体験学習の開催なども行っています。

これからも、地元自治体、山岳関係者及びパークボランティア等と連携をとりながら、日本を代表する優れた自然環境の保全に引き続き取り組んでまいります。



田沢湖をバックに和賀岳山頂にて

東北地方環境事務所の業務予定(平成21年12月・22年1月)

	時 間	業 務 予 定 内 容		場 所 等	担 当 課 等
12.5	14:30～ 17:00	冬の渡り鳥観察会冬は2本立て！動物園と化女沼を見て見よう	ラムサール登録湿地化女沼でマガン・ヒシクイのねぐら入りを観察	国指定化女沼鳥獣保護区	仙台自然保護官事務所(岡島)
12.9 ～10	13:30～ 17:00	所内鳥インフルエンザ研修	東北地方環境事務所版鳥インフルエンザ対応マニュアルに基づく研修	北里大学獣医学部十和田キャンパス(十和田市)	野生生物課(多田)
12.11	13:00～ 17:00	山岳トイレ技術セミナー	山岳トイレ技術の普及を目的	東京エレクトロンホール宮城601号室	国立公園保全整備課(伊藤)

	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
12.12	9:30～ 12:00	「野鳥・冬芽観察会」	姉ヶ崎周辺の自然歩道での冬芽と野鳥の観察	宮古市姉ヶ崎	宮古自然保護官事務所(平井)
12.15	11:00～ 12:00	不法投棄撲滅青森県民会議	不法投棄未然防止の課題や展望についての講演(主催:青森県・東北地方環境事務所)	アラスカ会館(青森市)	廃棄物・リサイクル対策課(佐々木)
12.20	9:00～ 15:30	もうすぐクリスマス☆親子で造ろう!「自然の素材でクリスマス&白神そば」	自然の素材を使って、紙を漉してカード作りや、ろうそく作りを行います。また、お昼は、西目屋村産のそば粉を使ったそば打ちを行います。	青森県西目屋村世界遺産センター(西目屋館)	西目屋自然保護官事務所(檜垣)
H22.1.9	10:00～ 15:10	(我が家の環境大臣事業)杜の子まつり	かえっこバザール、劇団わらび座によるカップのパッカとはるかの夢	仙台市青少年文化センター	環境対策課(片岡)
1.19	13:30～ 17:00	平成21年度第3回不法投棄対策セミナー	不法投棄対策担当者の現場対応ノウハウの蓄積及び現場対応能力の向上を図るためのセミナー	仙台第2合同庁舎「2階大会議室」(仙台市)	廃棄物・リサイクル対策課(前田)

誌上写真展



宮城県蕪栗沼マガン群舞
(仙台自然保護官事務所 鎌田和子)



伊豆沼ねぐら入り
(仙台自然保護官事務所 岡島一徳)



最上川鳥獣保護区 ハクチョウ
(鳥海南麓保護官事務所 大木 庸子)



銀細工の世界 秋田県藤里町岳岱
(西目屋自然保護官事務所
山崎 麻里)



晩秋の青池 津軽国定公園十二湖
(西目屋自然保護官事務所) 檜垣 育子)

※当事務所以外の方からの投稿もお待ちしております。

題字横の写真：雪の鳥海山(山形県鳥海山)
(鳥海南麓自然保護官事務所 大木庸子)